サイバーインシデント演習 in 神戸



サイバー攻撃への備えと事業継続を考える

参加費 **無料**

開催概要

総務省 近畿総合通信局は、令和８年11月25日(水)に中小企業・団体等を対象とした「サイバーインシデント演習 in 神戸」を開催します。

近年、世界的にサイバー攻撃を起因としたセキュリティインシデントが増加し、攻撃の手法も高度化・巧妙化しており、大企業にとどまらず、中小企業に対するサイバー攻撃も増加しています。

本演習では、サイバー攻撃を受けた場合の初動対応について講義と演習により学んでいただくことで、インシデント発生からの早期の事業復旧と継続に向けたサイバーレジリエンスの重要性について認識していただき、明日から自社で確認・見直しすべきポイントを整理してお持ち帰りいただくことを目的として開催します。

開催体制

主催	近畿総合通信局 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局 (近畿総合通信局、近畿経済産業局、一般財団法人関西情報センター)
共催	近畿情報通信協議会
後援	神戸商工会議所 独立行政法人情報処理推進機構

2026. 11/25 水

13:00 ～ 17:00（12:30受付開始）

会　場

三宮コンベンションセンター
507+508会議室

兵庫県神戸市中央区磯辺通2-2-10　ワンノットトレーズビル5F
(各線三宮駅 徒歩で約8分、貿易センター駅 徒歩約1分)

対象者

中小企業・団体等の経営層、
セキュリティ責任者及び
情報システム運用担当者、
地方公共団体職員の方等



定　員

40名　※定員に達し次第、終了します。

CYBER INCIDENT EXERCISE

第1部

サイバーセキュリティ導入講義：最新の脅威動向と「まず誰に連絡するか」

13：00～14：00

近年のサイバー攻撃の動向や、不審メール・ランサムウェアといった身近な脅威をわかりやすく解説します。
いざインシデントが起きたとき、社内の誰に報告し、どの外部窓口へ相談すればよいか、初動対応の基本を確認します。
自社で見直すべきポイントも、併せて整理してお持ち帰りいただけます。







第2部 | 第3部

サイバーインシデント実践演習「脅威の疑似体験と組織的対応シミュレーション」

14：00～17：00

第2部では、取引先を装った請求書確認メールを題材に、表示されたURLと実際のリンク先の違いや、偽のログイン画面へ誘導される手口を、PCを操作して体験します。

第3部では、実際に起こりうるインシデントを取り上げ、社内の誰に報告・相談し、何を優先し、取引先へどう説明すればよいかを、グループで話合います。

専門知識は必要ありません。初めての方でも、対応の進め方を体験しながら、明日から自社で確認すべきことを持ち帰っていただけます。

講師 ビーディーラボ株式会社
サイバーセキュリティ事業部
Executive Principal
大場 健一 氏



企業・医療機関・教育機関・自治体向けに、ITインフラ、ネットワーク、クラウド、サイバーセキュリティ対策の設計・導入・運用支援を行う。
VPN、ファイアウォール、EDR、バックアップ、ゼロトラスト、Microsoft 365など、実際の業務環境に即したセキュリティ対策を得意とする。
ランサムウェア対策、情報漏えいリスク、インシデント発生時の初動対応、組織内の報告・連携体制づくりなど、技術面と組織運用面の両面から支援を行っている。
本演習では、参加者が自組織のリスクを具体的に捉え、実際の場面で適切に判断・対応できることを重視して講義・演習を進行する。

お申込み

左記二次元コード又は以下の申込URLよりお申し込みください。
https://nttexc-mk.iqform.jp/form/ie-entry10/

【申込期限】2026年11月18日(水)まで

お問い合わせ

総務省 近畿総合通信局 サイバーセキュリティ室
06-6942-8546
security-kinki@soumu.go.jp

※本イベントの申込受付及びご案内等は、請負事業者である株式会社NTTExCパートナーが行います。
※やむを得ない事情により、講師・内容を変更する場合があります。